

第5学年 総合的な学習の時間学習指導案（食育）

福岡市立板付小学校

指導者 5年2組担任 山本 幸輝（T1）

栄養教諭 平 裕美恵（T2）

1 単 元 「お米パワー発見！おにぎり開発プロジェクト」

2 指導観

○ 子どもたちは、4年生の総合的な学習の時間「わたしたちの食生活を見直そう」という単元で、少しでも自分の好き嫌いを減らすことができるように課題別にチームを作り、自分の嫌いな食べ物、栄養価や食べやすい調理法には、どんないいところがあるのか調べ、課題解決学習に取り組んだ。また、5年生になって、家庭科で食品の働きやなぜ食べるのかなどについて考えたり、調理実習にも意欲的に取り組んだりして、食についての興味・関心は高まっている。

1学期に子どもたちは、学校内にある田んぼで米作りを体験するとともに、社会科の学習で日本の食料生産について学習しており、米作りにはたくさんの手間がかかることや米が日本の風土にあった作物であり、昔から食べられてきたことを理解しているとともに、米の消費量の減少や自給率の低下、農業人口の減少、農業者の高齢化などの問題点があることを理解している。しかし、日常の給食の様子を見ると、おかずの残菜は毎日ゼロであるが、ごはんやパンなどの主食に目を向けると、ご飯では14%パンでは20%の残菜があり、主食であるお米のよさを理解し、自分の食生活を考えたり、自分たちに何ができるか考えたりするまでには至っていない。

○ 本単元では、①お米やおにぎりのよさを理解すること②おにぎりについて自ら目標を設定して、情報を収集・取捨選択しながら調べて解決していく力、調べた事を適切にまとめて伝えていく力を養うこと③自分の食生活をふり返り、改善することをねらいとしている。板付小の近くには、板付遺跡がある。板付遺跡は、佐賀県唐津市にある菜畑遺跡と共に日本最古の水稲耕作跡である。そのような環境で米作り体験だけでなく、お米について学習し、自分たちのできることで情報を発信することは、非常に意義深い。自分たちでも作ることでできるような手順で簡単なおにぎりを取り上げること、自分で調理して食べるという実践に結びつけることができる。また、食の欧米化とともに米の摂取量は減り、それに伴い肉などのたんぱく質が増えることにより食事のバランスが崩れ、その結果、生活習慣病等が増加している。主食であるお米のよさを理解して、自分の食生活を見直すことは、今後豊かな食生活をおくる上でさらに価値あるものになると考える。

○ 本単元では、「おすすめのおにぎりを提案しよう」というテーマで課題を持って取り組ませたい。課題設定の段階では、社会科で学習した食料生産におけるお米の現状をふり返り、課題意識を持たせる。また、米離れが進む中で、コンビニなどでおにぎり売れている点や震災の時におにぎりが支給されたことを伝え、おにぎりの人気に注目させる。その中で自分たちのできることとして、お米のパワーを調べ、おいしいおにぎりを提案することを考えさせたい。

追究活動の段階では、お米の栄養や具、形など課題別にチームを作り、課題解決に取り組ませる。納得する情報を得るために、本やインターネットだけでなく、おうちの人や栄養教諭などへのインタビューや手紙など、できるだけ生の情報を自分自身で確認させる。また、基本のおにぎりを作る場を設定し、おにぎり作りの基本や作る際の注意点を理解させるとともに、おにぎり作りへの関心を高めたい。

中間報告会では、考えをより深めるようにさせるために、「アトバインスカード」を記入し、追究の見直しをさせる。その後、「食」の問題を家族の問題として考えるためにも家族に発信する場として

発表会を設定する。また、発表会後に自分の考えたおにぎりや家庭で作ることを促し、行動の変容に結びつけたい。

おすすめおにぎり作りでは、自分のために作るおにぎりや友だちのために作るおにぎりを作らせる。友だちに食べてもらう場を設定し、友だちから感謝や賞賛の言葉をもらうことで、自分が作ったものを誰かに食べてもらう楽しさや喜び味わせるとともに、おすすめおにぎりをもっと役立てたいという意欲を高めたい。そして、おすすめおにぎりの役立て方を考えさせ、交流することで、実践への意欲を高めたい。また、いつも給食を作っている立場の栄養教諭から給食もみんなにおいて食べてもらいたいと気持ちを込めて作っていることを伝えるときともに、給食のごはんが残っている現状を示し、自分たちの食生活に目を向けさせたい。

最後に個人でのまとめとして、この学習での活動や成果をふり返り、自分の成長に気付くことで、自信をもたせたい。

3 単元の目標

- 自分たちをとりまく食生活を見て、その問題などを見いだすことができる [課題発見力]
- 自分の立てた計画通りに、最後まで進めることができる [遂行力]
- 目的にあった情報を選ぶことができる [情報の取捨選択力]
- 一人ひとりがもっている知識や経験を出し合い、分かち合うことができる [共有する力]
- 伝えたいことを表現し、相手を納得させることができる [プレゼンテーション力]
- 互いに評価しあい、高めることができる [相互評価力]

4 食育の視点

- 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自ら管理していく能力を身に付けることができる。(心身の健康)
- 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心を持つことができる。(食文化)

5 活動計画 (31時間)

配時	学習活動と内容	指導上の留意点
1	<p>1 米(ご飯)について知っていることを話し合う。</p> <p>(1) 自分とお米についてイメージマップを書き、自分の食生活をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の食生活をふり返ることができること <p>(2) お米、おにぎりについて知っていることを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの知っている情報を整理すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4年生の時の学習を想起させ、イメージマップを自由に書かせる。 ○ おにぎりに興味を持たせるために、地震時の救援におにぎりが準備されていたという新聞記事をもとに、おにぎり(ごはん)が選ばれるわけを予想させる。
2	<p>2 お米の現状を調べ、学習課題をつくる。</p> <p>(1) お米が抱えている問題点を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題点に分かること ・ 食生活の変化による米離れ ・ 日本における食糧自給率の低下 <p>(2) テーマをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちができることを考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ お米の問題について考えさせるために社会科で学習したことを想起させる。 ○ お米(ごはん)のよさをもっと活かし、自分たちができることはないか考

	こと	えさせる。
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> これがわたしの提案する「おすすめのおにぎり」です。 </div>	
2	3 自分の課題を解決する学習計画を立てる。 (1) 調べてみたいことをカードに書く。 ○ 自分の「おすすめおにぎり」を考えること (2) 調べてみたいことを選び、課題を設定する。 ○ 自分の課題を設定し、チームをつくること (3) 学習の見通しをもつ。 ○ 学習の計画を立てること 味にこだわるおにぎり ・ きれいなものも食べられるようなおにぎり ・ のりなどでまくタイプのおにぎり ・ ごはん混ぜるタイプのおにぎり ・ ごはんの中に入れる具を考えたとおにぎり ・ 形や大きさを工夫したおにぎり ・ 栄養を考えたとおにぎり ・ 外国の人が食べられるおにぎり	○ 協力して追究活動を行うために、課題別にチームをつくる。 ○ 具体的な見通しを持つために課題解決のための計画をカードに書かせる。
10	4 課題解決のための追究活動をする。 (1) 情報収集をする。 ○ おすすめの「わけ」になる証拠を集めるために必要な手段がわかること ・ インタビューをして (お家の人、栄養教諭等) ・ アンケート調査をして ・ 新聞記事から ・ 体験を通して ・ 図書資料から ・ インターネットから ・ お手紙で (2) おにぎりを実際に作ってみる。 ○ おにぎりの基本をマスターすること ・ どうやって作るのか ・ 注意すること、気をつけることは何か (3) 情報を整理する。 ○ 自分の考えを持つこと (4) 中間のまとめをする。 ○ おすすめのわけ付きのおにぎりレシピを書くこと ・ おにぎりの栄養 ・ おすすめの形 ・ おすすめの具	○ 正しい情報を得るために、できるだけ「生の情報」を自分自身で確かめ、ひとつの情報だけでなく、複数の手段で確認させる。 ○ 各グループの課題解決に結びつく資料を教師の方でも準備する。 ○ チームのおにぎりづくりの役に立てるために、衛生面に注意し、一人ひとり体験させる。全員同じ物を作る。 ○ 情報を整理するために、これまで集めた情報を取捨選択させる。 ○ 聞いている人に分かりやすくするために、プレゼンテーションのときに提示するものは、筋道を立てて伝える工夫が必要であることを伝える。 ・ 提案したいことが一目で分かるグラフ、写真、イメージ図を入れる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・おにぎりの歴史 ・お米の栄養について 	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしたら分かりやすく伝わるか、ストーリーを考える。 ・資料を並べて下書きを作らせる。 ・下書きの全体を見て、デザインや色を組み立て「制作物」を完成させる。
1 1	<p>5 中間発表会を開き、よりよいものに改善する。</p> <p>(1) 中間発表会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お互いの報告を聞き合うこと ○ 質問やアドバイスをし合うこと <p>(2) 追究の見直しをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 足りない情報を補足すること ○ 意見を修正したりすること <p>(3) 追究し、考えたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 分かったことや考えたこと、呼びかけたいことなどを整理すること ○ 効果的な表現方法を考えること 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞き手の立場から感じた事を「アドバンスカード」に記入させる。 ○ よりよい資料にするために、中間発表で質問されたことやアドバンスカードをもとに、聞いていた人を納得させる資料であるか考えさせる。 ○ 相手に自分たちの思いが伝わるようにするために、伝えたいことを明確にし、表現の仕方を工夫させる。
1	<p>6 発表会を開き、発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家族への発信 ・保存性のよい梅おにぎり ・こんぶおにぎり ・味と具 ・いろいろな形と具のおにぎり ・混ぜ合わせのおにぎり ・のりを巻くおにぎり ・栄養のあるレタスおにぎり ・焼きおにぎりをもつと食べてもらうために ・楽しく食べられる雪だるまおにぎり ・外国人でも食べられるおにぎり <p>(家庭でおにぎり弁当を作る。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校外学習の際に、できるだけ自分が考えたおにぎりを作ってみるよう促す。 ○ 家庭への協力を呼びかける。
(課外)		
1	<p>7 おすすめおにぎりを作り、試食する。</p> <p>(1) おにぎり作りの計画をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おすすめおにぎりを作る手順や工夫、注意点を整理すること。 ・梅おにぎり ・しゃけおにぎり ・こんぶおにぎり ・トトロおにぎり ・雪だるまおにぎり ・吹き寄せおにぎり ・焼きおにぎり ・アンパンマンおにぎり ・ペンダおにぎり ・レタス肉おにぎり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のためのものと友だちのためのものと作らせる。

<p>(2) おにぎりを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 計画にそって、おにぎりを作ること。 (3) 自分で作ったおにぎりを試食する。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 計画通りにできていないこと (4) 友だちに食べてもらうおにぎりを作る。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 気持ちを込めて、おにぎりを作ること。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 衛生面に注意させる。 <input type="radio"/> 計画書を見直し、思い通りにできたかふり返らせる。 <input type="radio"/> 試食して、友だちに作るおにぎりは、塩加減や具の量を改善ように伝える。
<p>1 (本時)</p> <p>8 おすすめおにぎりの役立て方を考える。</p> <p>(1) 自分の作ったおにぎりを友だちに食べてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> おすすめおにぎりのよさやおにぎりに込めた思いを伝えることができること。 <p>(2) おすすめおにぎりの役立て方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 自分の考えを持つことができること。 (3) 栄養教諭の話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 給食を作っている人の気持ちが分かること。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 誰かに食べてもらう喜びを味わわせるために、友だちにおにぎりを食べてもらい、メッセージをもらうようにする。 <input type="radio"/> なぜ、そのように思ったかを考えさせる。 <input type="radio"/> 給食のごはんの残菜を知らせ、給食もみんなのために作っていることを伝える。
<p>2</p> <p>9 個人で自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 自分が成長したところを見つけること。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 自己評価、他者評価から、自分の成長に気付かせる。

食育をすすめるにあたって…

今回、子どもたちはお米のよさを知り、おすすめおにぎりを考え、いろいろな場面でおにぎりを役立てる事を考えてきた。日々の給食で実践しようとしたときに、現在、給食のごはんを使用しておにぎりを作ることができない。食事の仕方をふり返り、感謝して食べることを子どもたちが考えたときに、児童自らの手でおにぎりを作ることができることができれば、残菜を減らす一手法となるのではないだろうか。

6 本時 平成20年11月25日 (火) 5校時 5年2組教室

7 本時目標

- おすすめおにぎりの役立て方を考えることができる。
- おすすめおにぎりを役立てたいという意欲を高めることができる。

8 本時指導にあたって

子どもたちは、前時までに課題別グループごとにおすすめのおにぎりやお米の栄養についてまとめ、参観日に保護者に向けて調べてきたことを発表した。これまでの学習を通して、おにぎりについて興味・関心が高まっており、発表後の校外学習の際におにぎりを自分でつくってきた児童も多く見られている。また、おにぎりやお米のよさを理解し、パンよりもお米を食べた方がいいという意識が芽生えている。しかし、知識としておにぎりのよさは分かっているも、自分たちが考えたおにぎりや友達の見聞きしたおにぎりのよさやお米のよさを誰かにアピールしたり、誰かのためにおにぎりを作ったりするなど、今までの学習を活かし、広げようという行動に結びついていないのが現状である。また、給食の残菜を見るとおかずの残菜はゼロであるが、ごはんの残菜は多い。お米のよさは分かっているも、

自分の食生活をふり返り、見直すまでには至っていない。

本時では、自分の作ったおにぎりを友達に食べてもらうことを通して、誰かに食べてもらう楽しさや喜びを経験し、これからも生活の中でおにぎりを役立てたいという気持ちを持たせることとして、おすすめおにぎりの役立て方を考え、実践しようとする意欲をもたせることをねらいとしている。

まず、前時におすすめおにぎりを作ったことをふり返る。

次に、友だちに作ったおにぎりを食べてもらう。おすすめおにぎりのよさやおにぎりに込めた気持ちが相手に伝わるように、食べてもらう相手に向けて書いたメッセージカードをおにぎりと一緒に渡す。食べた後、相手からメッセージをもらうことで、自分の作ったものを誰かに食べてもらう喜びや楽しさを味わわせたい。さらに、おすすめおにぎりを役立たせたいという意欲を高めるために、家族におすすめおにぎりを作った経験のある児童の保護者にその時の気持ちをインタビューしたビデオを流し、他の人にも喜んでもらえることを伝える。

次に、おすすめおにぎりの役立て方を考えさせる。その際に、自分の考えを発表し、交流することで、考えを深めさせたい。

最後に、栄養教諭から、給食を作る際の思いを伝える。そして、一週間分のクラスのごはんの残菜を表したグラフと写真を示し、自分たちの食事の仕方をふり返るきっかけとしたい。

9 準備 教師：返事用のメッセージカード、学習プリント、空の食缶の写真、ご飯の残菜の写真、一週間分のごはんの残菜を示したグラフ

児童：自分の作ったおにぎり、食べてもらう相手へのメッセージカード

板書計画

お米パワー発見！おにぎり開発プロジェクト

めあて おすすめおにぎりの役立て方を考えよう。

役立て方

どんな気持ちで作りましたか？ ビデオを見てどう思いましたか？

友だちからメッセージをもら
い、どう思いましたか？

空の食缶
の写真

ごはん
の残菜
の写真

一週間分のごは
んの残菜量を示
したグラフ

10 展開

	学習活動と内容	指導・支援	
		T1 (担任)	T2 (栄養教諭)
き づ く 5 分	1 前時の学習をふり返り、本時のめあてをつかむ。	○おすすめおにぎりを作った食べたことをふり返り、本時のめあてにつなぐ。	
	めあて おすすめおにぎりの役立て方を考えよう。		
2	友だちに自分が作ったおにぎりを食べてもらう。 (1) どんな気持ちで相手に作ったかふり返り、メッセージを添えておにぎりを交換する。 (2) 友だちのおにぎりを食べ、作った相手にメッセージを書いて渡す。 (3) メッセージをもらって、どのように思ったか発表する。	○ 食べ終わった人から、メッセージを書かせる。 ○ 作ったときの気持ちと今の気持ちを比較させる。	○ ただ食べるのではなく、作ってくれた人のメッセージや顔を思いながら食べるように伝える。
深 め る 3 5 分	3 おすすめおにぎりの役立て方を考える。 (1) おすすめおにぎり以外の人も喜んでもらえることを知る。 (2) どのように役立てることができるか考え、考えを交流する。 (3) 栄養教諭の話を聞く。	○ 考えを交流し、考えを深めさせる。 ○ 児童の考えた内容を賞賛し、実践することの意欲を高める。	○ おすすめおにぎりを作って、喜んでくれる人がいることを知らせるために、家族のためにおにぎりを作った経験がある児童の保護者に、作ってもらった時の気持ちをインタビューしたビデオを見せる。 ○ 児童の考えた内容を賞賛し、実践することの意欲を高める。
ま と め る 10 分	4 本時学習についてまとめる。「今日の学習で」を書き、発表する。	○これからどのようなようにしたいか具体的に書かせる。	

